

Geol. Surv. Greenland. Copenhagen, 603p.  
 Foighel, I (1980) Home Rule in Greenland. Meddelelser om Grønland, Man & Society, 1. 21p.  
 伊勢丹 (1986) 氷河期の島—グリーンランド展.  
 Koalund, B. (Trans. K. Tindall) (1979) The Art of Greenland-Sculpture, Crafts and Painting. Univ. Calif. Press. 224p.  
 久保義光 (1986) グリーンランド・フィンランド紀行. 泰流社.  
 The Royal Danish Ministry of Foreign Affairs (1983) Factsheet Denmark-Greenland. 12p.  
 篠田欣二 (1983) 未来をめざすグリーンランド人. 講談社, 世界の国シリーズ no.7, 北欧, 99-114.  
 Tourist Office, Nuuk (1986) Tourist News, 3rd Ed. 46p.  
 von Linden, Franz-Karl. & Wayer, Hilfield. (1974) Greenland. Kummerly & Frey Geographical Publishers, Bern, Switzerland. (絶版)

地形図 北部・北東部を除く沿岸地域の大部分について 25 万分の 1 地形図が Geodaetisk Institutt より出版されている (Guidelines on Greenland Expeditions, 2nd Ed. の 8-9 ページ参照).

TATSUMI Tatsuo (1990): Greenland—Brief note on its nature, history and community.

<受付: 1990年1月24日>

【編集委員会註】 この原文は 1986 年 8 月, グリーンランドでの学術調査計画をする人の為に書かれたものであるが, 今回の発表ではその中の「グリーンランドでの学術調査活動」の章を省き, 第 II 章の「グリーンランドの地質の特色」を石原舜三氏が文献をもとに加筆した. CO<sub>2</sub> による地球温暖化などに関してグリーンランドにも関心が高まっている今日, 同地域の一般事情を知る材料としてここに掲載する.

豆辞典

地球資源衛星 1 号

通産省と科学技術庁とが共同開発を行っている地球観測衛星. 英語名は JERS-1 (Japan Earth Resource Satellite-1). 1992年に H-1A ロケットで打ち上げられる予定. 搭載される観測機器としては, 光学センサ (OPS) と合成開口レーダ (SAR) とがある.

前者は, 可視-近赤外域に 4 バンド, 短波長赤外域に 4 バンドを有し, 地表面で反射された太陽光を地上分解能 18×24m で観測し, 幅 km の画像を得る. 可視-近赤外域のうちの 2 バンドは, B/H 比 0.3 の実体視機能を持つため, 地形や地質構造の解析に有効であると期待されている. しかもフランスの SPOT 衛星の側方視方式とは略なり, 同軌道内でステレオペアを取得する前方-直下視方式のため, 地表面の時間的変化の影響をほとんど受けない. 短波長赤外域では, 1.6μm 付近に 1 バンド, 2.2μm 付近に 3 バンドを持つ. この波長域では, これまではランドサット TM が 2 バンド有するのみであった. 2.2μm 付近には, 粘土鉱物や炭酸塩鉱物などが特徴的な吸収を持つため, 熱水変質帯や石灰岩などの識別, マッピングに威力を発揮するものと思われる.

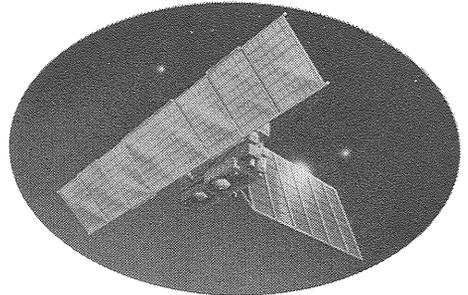


図 地球資源衛星 1 号の外観

合成開口レーダは, 波長約 20cm の L バンドと呼ばれる帯域のマイクロ波を地表面に発射し, その反射波を受信する能動方式のセンサである. 地上分解能は 18m, 走査幅は 75km. マイクロ波は, 雲や霧を透過するため, 雲に覆われていることの多い熱帯や極地域などの地形マッピングに有効であろう. また, マイクロ波は, 植生や砂などがある程度は透過するという特長があり, その効果が注目されている. (地殻熱部 山口 靖)